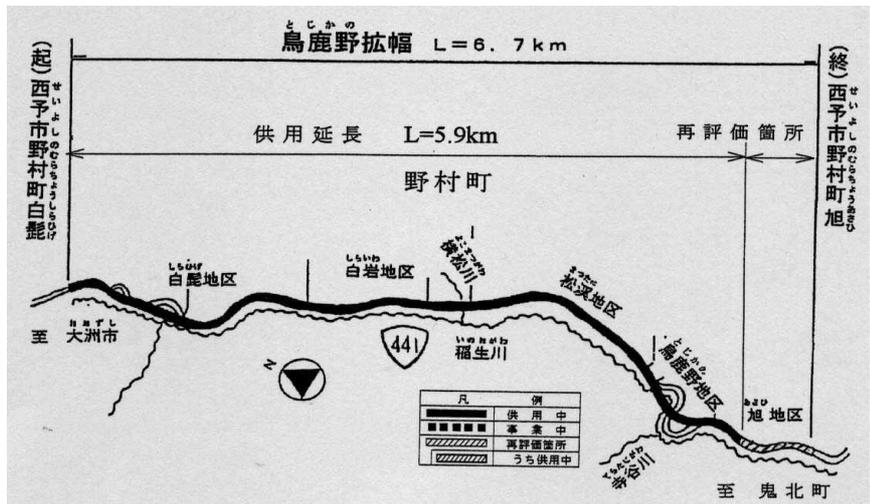


## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名：一般国道441号 鳥鹿野拡幅 <small>とじかのかくろく</small>	事業区分：国道	事業主体：愛媛県 延長：6.7km
起終点：自：愛媛県西予市野村町白髭 <small>せいよしのむらちやうしらひげ</small> 至：愛媛県西予市野村町旭 <small>せいよしのむらちやうあさひ</small>		
事業概要：一般国道441号は、大洲市を起点として西予市を経て、高知県中村市に至る総延長約11.5kmの幹線道路である。鳥鹿野拡幅は現道の幅員狭小、線形不良区間の解消を図ることを目的とした、西予市野村町白髭から同町旭に至る延長6.7kmの現道拡幅とバイパスからなる2車線道路である。		
H2年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H2年度用地着手 H3年度工事着手
全体事業費	58億円	事業進捗率：90% 供用済延長：5.9km
計画交通量	1,600台/日	
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 0.9 (残事業) 1.0	総費用：(残事業)/(事業全体) 8/84億円 (事業費：7/72億円) (維持管理費：1/12億円)
		総便益：(残事業)/(事業全体) 8/74億円 (走行時間短縮便益：8/73億円) (走行費用減少便益：0/1億円) (交通事故減少便益：0/0億円)
感度分析の結果：実施なし		
事業の効果等 大型車との離合が困難な幅員狭小区間の解消により、輸送力が増強する。 防災点検危険箇所が解消され、安全な交通路が確保される。 時間短縮に伴い、沿線集落と大洲市との接近性が向上し生活文化の交流促進と連携が図られる。		
関係する地方公共団体等の意見 国道441号整備促進期成同盟会による事業促進の強い要望がある。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 旭工区において、一名の地権者の事業に対する同意が得られず、事業の進捗に遅れを生じた。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年度までに旭工区を除く5.9km区間を供用しており、地域住民の安全確保や道路利用者の利便性が向上している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成14年度に事業認定を受け、平成16年8月にはすべての用地取得を完了し、現在残る工事の促進に努めており、平成18年度には全線完成供用を図る予定である。		
施設の構造や工法の変更等 現道拡幅を主体としており、大規模な切土等が生じないような計画・構造物の設計を行っている。		
対応方針	継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる	
事業概要図 		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。